

特殊素材を使用した オーダーメイドシートを提供

- 海外発注可
- 納期相談
- 企画力自信有
- コスト相談
- オンライン技術
- メイドインジャパン
- 試作可小ロット
- 量産対応



ユーザーの要望を汲みとり手作業でシートを加工

業務内容 バブル崩壊を機に 業容を多角化

高度経済成長にともなう輸送業の活況を背景に、ミシン縫製によるトラックシートの専門メーカーとして昭和34年に創業。同40年代後半からは、トラックシート製造のノウハウを生かして物流倉庫テントの製造を開始したが、バブル崩壊後に需要が低迷した。これが契機となり、運搬用シート以外の物流用品の製造に着手した。

現在では全国トップクラスの販売実績を誇るトラック用防水シートのほか、断熱・不燃などの機能性シート、多目的ネットなど、オーダーメイドシートや特殊素材を使用した多くのオリジナル商品を提供している。

強み 素材知識と技術で 細かな要望に応える

顧客からの要望に沿った素材を選定し、設計ソフトを活用しながらミシンなどで加工する。主力のトラックシートのほか、最近では耐熱シートを加工する引き合いが増えているという。菊地宏子社長は「新しい素材を提案するうえで、トラックシート60年の歴史が生かされている」と強調する。最適な素材を探し出し、自社で採寸から製造、取り付けまでを一貫して行う。

人材育成 資格取得を奨励し 環境づくりにも注力

現在、力を入れているのが人材育成だ。有機・無機繊維を使ったシートなど特殊素材の加工品も幅広く扱っており、そのため社内

には1級帆布製品製造技能士の取得者はもちろんのこと、防災加工専門技術者などの民間資格取得者も在籍している。これらの資格取得へ向け積極的に取り組む従業員に対して、同社では費用を負担するなどの支援を行っている。

今後の展望 トラックシートの特性で 災害対策製品を模索

業容を拡大する中で、平成29年には近接地にフィルムを巻き取るスリッター専用の第2工場を操業。今後は災害対策の分野にも展開していく考えだ。「平成30年9月に発生した台風21号で被害を受けた住民から『ブルーシートが風で飛ばないか不安』という声を多く聞いた」と、菊地社長はきつかけを話す。トラックシートは貨物の品質保持のため耐久性が高く、紫外線にも強い特性がある。その特性を生かして、自然災害の被害を最小限に抑えられる製品を開発できないか模索しているという。「トラックシートもまたまたお役に立てる」と、今後の開発にも意欲的だ。



協力してシート採寸を行う



平成29年に稼働した第2工場

当社の歴史



昭和34年にトラックシートの製造・販売業として設立。耐熱シートや不燃シートなどの特殊素材の加工にも事業の幅を広げています。トラックにかかわる事業のため、創業当初より「大切な荷物の安全を願う」をキーワードとし、「品質」と「納期」に細心の注意を払いながら製品づくりに取り組んでいます。

代表取締役社長 菊地 宏子さん

<http://www.kikuchi-sheet.co.jp/>

主な事業内容

車輦用幌シートや機能性シートの製造・販売

主な取引先(納入先)

運輸倉庫会社、トラック販売会社、自動車メーカー、機械工具販売会社、電力会社、製鉄会社

●住所

〒538-0042
大阪市鶴見区
今津中3-7-34

- TEL 06-6961-6891
- FAX 06-6961-6895
- 創業 昭和34年4月
- 設立 昭和34年4月
- 資本金 1,500万円
- 従業員 34名

大阪30